

福島農業

No. **600**

題字 福島県知事 佐藤雄平



8

2014

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■緑のカーテン



「林業福島」600号の発刊を迎えて

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤 卓夫

「林業福島」は、本号をもって六〇〇号を迎えることができました。これも読者の方々をはじめ、多くの関係者のご支援、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

昭和三八年八月、本県林業、山村の振興を担って林業関係の総合的機関誌として創刊され、常に時代の話題をタイムリーに取り上げながら五一年間にわたり着実に歩んでまいりました。

本誌第一号の巻頭言では、「山は木をあるをもって貴しとなす」という言葉を載せておりますが、森林は、木材の生産はもとより、国土の保全、水源のかん養等の多面的機能に加え、近年は地球温暖化防止機能も重視されるようになり、この言葉はずっと生き続けていることを痛感させられます。

奇しくも、「六〇〇号」を祝福するように、八月八日に平成三〇年全国植樹祭の本県開催が内定されました。「林業福島」では、震災前までの森林と人との絆を取り戻し、緑豊かなふるさとの再生を進めるシンボルである全国植樹祭に向け、復興に力強く取り組んでいる姿を適宜・適切に広く発信してまいることとしております。

これからも、初心を忘れず、読者からのご意見を励みに、お役に立つ情報を的確に、より親しみやすく、充実した紙面づくりに心がけ、さらに号数を重ねてまいりたいと思っておりますので、関係各位のなお一層のご指導、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら	森林認証取得による持続的な林業経営の確立をめざして（提言） ～ふくしま森林再生事業を生かして～… 6
「林業福島」600号の発刊を迎えて 公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 会長 齋藤 卓夫…………… 1	支援センターだより…………… 7
「林業福島」600号を迎えて ～明日の林業にかける思いを振り返る～ 公益社団法人 福島県森林・林業・ 緑化協会…………… 2～5	普及指導員通信…………… 8
	◆ 水源林整備事務所だより…………… 9
	木連だより…………… 10
	お知らせ…………… 11
	木材市況・ふくしま東西南北…………… 12
	はなしのひろば…………… 13

「林業福島」600号を迎えて

～明日の林業にかける思いを振り返る～

昭和38年8月、林業者が一体となって総合的に林業を考えようと第1号が発行されました。それから51年、移り変わる林業情勢を背景として、多くの人々に支えられ、600号を迎えることができました。厚く御礼申し上げますとともに、今後も一層のご支援をお願いいたします。

「林業福島」の歩みは、福島県の森林林業の歴史でもあります。これまで記念特集号で語られた明日の林業にかける先人たちの思いを振り返ってみます。

第一〇〇号

(昭和四七年一月十五日発行)



●新春に語る

「林業への私の抱負」

■生産性の高い林業をめざす

(福島県知事)

未来あふれるわが福島県にふさわしく、緑豊かな郷土の建設は一層重要であり、県民生活の望ましい自然環境と経済発展の調和を図りつつ、生産性の高い林業を育成するよう、さらに各種の林業施策を積極的に講じてまいりたい。

■近代化のため新しい森林政策を

(福島県農地林務部長)

林業の近代化を強力に押し進めるための構造政策の確立が求められている昨今、時代の要請に基づいた林業の振興のため、さらに一層の努力を積み重ねて行きたい。

■総力を結集し林業危機突破

(全国林業改良普及協会専務理事)

フィンランドのタビオ委員会のような無駄のない組織ができれば、お役所の縄張りもなく、国と民間が一致してよい仕事ができるだろう。

■山野に光を (福島県町村会会長)

林業総生産の増大と木材流通の近代化を急速に推し進めることにより、本県内全ての山野に陽はさんと輝き、樹の間をこもれる陽の光は人々にうるおいと安らぎを与え、木材をはじめとする林産物は、生活に豊かさをもたらす「山の美しさ」である。

■林業福島を情報源として

(郡山市湖南町 渡辺 弥重)

これからの林業は、四〇年過ぎれば伐れるという考えでは取り残されてしまう、なんといっても七〇年代は、良質材でなければ売れません。このような情報をより早く伝えてもらうには、林業福島だけです。

●読者の声

「1000回ありがとう」

■造林をしよう

(東和町 高野 正三)

里の山を緑の山に、宝の山にと

仲間を呼びかけ、公害のない空気を胸いっぱい吸い込んで、すばらしい阿武隈山系をながめながら、開発にとりくんでいる。

■林業福島を心のかてに

(いわき市田人町 金子テイチ)

林業指導による、各地区の山村青年林研グループの情報交換などで、仲間づくりが、林業発展の心を開く、「鍵」となるのではないのでしょうか。

第二〇〇号

(昭和五五年五月十五日発行)



●200号を迎えて

■2000回ありがとう

(猪苗代町森林保全巡視員)

小鮒 寿美)

同士と共に磐梯・吾妻の生物を守る会を結成し、千里地区植林会

の庶務を担当して、戦時中乱伐された山々に人工造林を実施し、林業事務所の指導を受けたのが、巡視員となったきつかけです。

■新しい時代の林業の道標に
(長沼町林業研究会長 柏村 祐介)

「林業福島」を購読することにより、少しずつ林業に対する知識を理解することができ、林業への興味、さらには経営の手段として、実際に山林の手入れをする気持ちを起こさせていただきました。

■さらに良い林業経営を

(郡山市湖南町 渡部 助重)

今や女性に対しても林業教室があります。長男の嫁も参加し、卒業間近の頃、今までの体験発表に優秀賞を頂いてきたこともあり、うれながら感心し、かわいい嫁をもう一度見直したこともあります。

■「林業福島」の良き伴侶として

(いわき市三和町 平山 善吉)

私は、百年の樹を枝打したなら、その後百年間は伐らないこととしています。林業経営者としての自分なりの考えを実施に生かし、連絡も縦横に保ち、話題の主流を年代に限らず広く求めていきたい考えです。

■八〇年代に思う

(東和町指導林家 高野 正三)

若い農山村に生きる青年が、山に愛着心と公的なみどりの重要性、経済性にめざめて欲しいと常々考えています。

■「林業福島」二〇〇号に思う

(福島県森林土木課長)

「林業福島」がより内容を充実し、本県森林・林業・林産業推進の大きな担い手として力強い歩みを続けられるよう心から期待いたします。

■地域林業技術をめざし、円滑な場の運営を!!

(福島県林業試験場長)

森林の公益的機能や多面的な森林の利用、さらには林業生産を通しての農山村の繁栄などの施策を円滑に進めるためには、試験研究に裏打ちされた技術がなければなりません。と信ずるものであります。

■躍進する森林・林業のために

(福島県森林組合連合会長)

これからは末端の林家それぞれが、自らの山を見直し、そして、意識的に立派な山づくりができるようきめ細かい施策を、さらに皆さんと共に知恵を出し合って、林業・木材産業の発展のために、最大限の努力を続けていく所存です。

第二〇〇号

(昭和六三年十一月一日発行)



●林業福島二〇〇号記念座談会

〜林業の移り変わりとともに〜

―福島県林業協会元常任理事―

緑の少年団は、盛岡での全国植樹祭の時に、少年団が立派な行進をしたのを見て、ぜひ福島にもということで発足させたもので、当時は緑の少年団が、全国でもあまりなく、林業福島の記事を見て各県からよく視察に来たんですよ。

―福島県林業協会元常任理事―

雪害の時は、資料や写真を集めたりして森林雪害の記録を作りました。クリスマス豪雪を契機に森林災害が激甚法に適用させてもらったのですよ。

―福島県農地林務部次長―

厳しい中で真剣に山づくりやき

のこづくりに精を出している人がいるわけです。泣き言ばかり全面に出してもしょうがありませんから、やる気のある人達に陽を当てることが大切だと思います。

●「林業福島」三〇〇号によせて

(古殿町指導林家 水野 春樹)

私共林業家は、内地材価格の低迷、若者の農林業離れ、林地の荒廃等諸問題の解決のため頑張っています。今後は時代感覚を持つて対応し、良質材の生産や地域を生かした特産物の産地化等経営の合理化を、地域の皆さんと共に図って林業振興に尽力して行きたいと思っています。

第四〇〇号

(平成九年八月一日発行)



●四〇〇号記念座談会

森林・林業の明日に寄せて

〜森林・林業に期待するもの〜

―福島県農林水産部次長―

林業とは何だ、というのと伐採があつて初めて林業、生業というふう
に思うわけで、林業が適切に継続
されてこそ、森林の公益的機能の維
持、増進というものが達成できるの
ではないかなと思つております。

―福島県森林組合連合会専務理事―

森林組合等専門的な林業事業者
の方々が他産業並みの収入で就労
でき、しかもいろいろな機械を駆
使できるような林業技術をもった
事業者として若い人がどんどん
入つてくれるような労働環境を早
く作つていく必要がある。

―福島県木材協同組合連合会専務理事―

木材といつても県内ですら六〇
割強が外材という状況で、特に近
年、国際化を十分視野に入れた対
策が必要です。木材は古来より人
間生活と深い関わりがあり、健康
管理上も非常に効果的であること
を科学的根拠に基づいてもう少し
わかりやすく理解してもらい、利
用を促進する必要があります。

―山都町立山都第一小学校

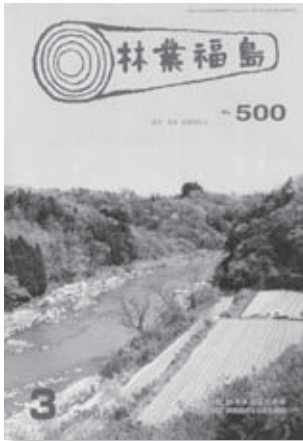
緑の少年団担当教諭

子どもたちと森とか林とかで直
接体験できることをできるだけた
くさん取り入れていきたい。頭
でかちの人間だけにはなつてほ
しくないなど、人間味のある人間
になつて欲しいなど願つていま

―福島県森林審議会委員

(JA福島女性部協議会副会長)

私たちは生活をしていく上で緑
を捨てることはできないし、そし
て林業との関わりも捨てることは
できないと思つていますので、これか
らもそれに携わつていかれる方
には、本当にきれいな森をつくつ
ていただきたいと思つています。



第五〇〇号

(平成十八年三月一日発行)

●五〇〇号特集

林業の心を伝えたい

―「林業福島」と共に

(いわき市指導林家 緑川 平寿)

木材資源はいずれ見直されま
す。その理由は石油資源の減少、
その消費による地球温暖化の問
題、木材資源の幅広い利用方法の
開発等があげられます。林業は長
い長い年月を要します。私たちは
夢を持ちながら林業の発展に努力
していきます。

―林業再生

(元福島県林業試験場長)

当時の林業青年が多くの資本を
投じて造林し、長い間黙々と汗を
流して山づくりをした森林も、よ
うやく四〇年を超え、まもなく伐
期を迎える。このように長い間努力
し続けてきた森林所有者が報いら
れるような産業としての林業の再
生を図るよう、国は強力な施策を
打ち出すことが緊急の課題である。

―林業への思い

(瀧根町 博多直一郎)

県民一人一人が参画する新たな
森林づくりが始まるこのことで
す。東日本で初めて導入された森
林環境税を活用して、森林環境の
保全と農山村の振興と活性化を図

るとのことで、人と環境を重視し
た林業の新しい波を大いに期待し
ております。

―山づくりの思い出

(元郡山市林業研究会 渡辺 弥重)

毎年三鈴の造林を行いました。
毎年の植林は問題なかったのです
が、下刈りが毎年三鈴ずつ増えて
いき、夏の暑さと蚊、ハチ等の対
策に頭を痛めました。何もでき
ませんでした。

―種苗業界の回想

(福島県農林種苗農業協同組合長)

先人の永年にわたる汗の結晶、
努力の積み重ねにより、業界に残
された功績は、誠に偉大なものが
あります。先人に報いるために
も、低迷不振の一途を辿る業界の
現状を正確に把握し、いかなる困
難をも乗り越えて、苗木生産の灯
を打ち消すことが無いよう、努力
を惜しんではならないと思うので
あります。

―森林を健康に

(元福島県木材協同組合連合会長)

良質な木の家で健康な生活を、
我々は木の利用を通して森林づく
りを働きかけて行きたいと思つて
います。
「森に生きし 祖先より続く 血の
欲りし 木造の家 木々のある家」

林業福島六〇〇号のあゆみ

林業福島五〇〇号（平成十八年三月発行）から五九九号（平成二六年七月発行）までに掲載された主な記事のタイトルをひろい出してみました。その間の福島県の林業の流れや森

林・林業を取り巻く情勢の移り変わりを、そのタイトルから伺うことができ、特に平成二三年四月号以降は、東日本大震災及び原子力災害から森林・林業の復興・再生に関する記事が多くなっており、また、シリーズものとして、「森

林文化（No.503から四八回の連載）や「林道を訪ねて三、〇〇〇キロ（No.567から十七回の連載）などを掲載しました。これからも、一号一号を積み重ねていきたいと思えます。

号数	発行日	タイトル
No.503	H18. 6. 1	・いわき産ペレット温丸（ぬくまる）をよろしく！
No.504	H18. 7. 1	・森林ボランティアサポートセンターオープン
No.506	H18. 9. 1	・森林環境税を財源とした森林環境基金事業が動き出しました
No.511	H19. 2. 1	・合法的な木材供給と県産木材利用の取組
No.515	H19. 6. 1	・桂宮宜仁親王殿下御台臨・漆苗木植樹祭 北塩原村で開催される
No.516	H19. 7. 1	・森林環境税を活用した森林づくり～木質バイオマスの利用推進
No.517	H19. 8. 1	・作業路と木材生産～森林環境税を活用した森林づくり～（6回の掲載）
No.523	H20. 2. 1	・ふくしま森林文化フォーラム開かれる
No.526	H20. 5. 1	・安全な山仕事のために－これからの季節の注意事項－（3回の掲載）
No.528	H20. 7. 1	・森林基幹道花塚線が開通
No.530	H20. 9. 1	・第19回緑の少年団全国大会が本県で開かれる
No.532	H20.11. 1	・ふくしま森の感謝祭初めて開かれる
No.534	H21. 1. 1	・「森林整備シンポジウム2008in福島」開かれる
No.542	H21.10. 1	・21ふくしま森林の感謝祭開かれる ・森林整備加速化・林業再生事業始まる。
No.544	H21.12. 1	・21ふくしま森林文化フォーラム開かれる
No.550	H22. 6. 1	・新たなブランド「いわきゴールドしいたけ」誕生
No.551	H22. 7. 1	・ふくしま森林文化企画展始まる
No.553	H22. 9. 1	・高性能林業機械を活用した新しい施業システム
No.556	H22.12. 1	・県内におけるバイオマス利用の取組について
No.560	H23. 4. 1	・東日本大震災特集号発行 東日本大震災被災状況と復旧に向けて
No.561	H23. 5. 1	・東日本大震災 被災状況と復旧に向けて②
No.564	H23. 8. 1	・日本型フォレスター研修始まる
No.567	H23.11. 1	・美しいふくしまの森に思いを馳せて（滋賀県知事 嘉田由紀子） ・海岸防災林の被害状況と復旧に向けて
No.569	H24. 1. 1	・「新春特集」広がる森林づくり
No.570	H24. 2. 1	・木と日本人（芥川賞作家 玄侑宗久）
No.573	H24. 5. 1	・「森林除染の技術指針（林野庁公表）」の概要
No.575	H24. 7. 1	・東日本大震災からの森林土木施設の復旧状況について
No.579	H24.11. 1	・林道復興シンポジウムの開催
No.580	H24.12. 1	・目指せ！平成30年全国植樹祭招致
No.581	H25. 1. 1	・森林・林業の再生に向けて～震災からの復旧・復興の現状と課題～
No.584	H25. 4. 1	・特集「福島の花」
No.586	H25. 6. 1	・「福島県農林水産業振興計画ふくしま農林水産業新生プラン」について
No.588	H25. 8. 1	・林道飯豊檜枝岐線・一の木線開通
No.589	H25. 9. 1	・東北・北海道ブロック林業グループコンクール 福島県で開催 ・全国森林環境税創設促進議員連盟 第20回記念大会南会津町で開催
No.590	H25.10. 1	・福島県森林土木建設業協会設立される
No.591	H25.11. 1	・海岸防災林再生等復興支援事業について
No.592	H25.12. 1	・「木（森）に由来する伝統文化継承イベント」を開催しました。
No.596	H26. 4. 1	・ふくしまの森・復興大会の開催
No.597	H26. 5. 1	・震災・原発からのふくしまの森林・林業の再生に向けて

特別寄稿

森林認証取得による持続的な 林業経営の確立をめざして(提言)

～ふくしま森林再生事業を生かして～



福島森林管理署長
富永 茂

福島県の森林は、福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質により未曾有の甚大な被害を受けました。その福島を再生させるため

に、今年度から、ふくしま森林再生事業が本格的に始動しました。市町村が実施主体となつて民有林をまとめながら全体計画、実施計画を策定しており、順次事業が動き出しつつあります。

森林認証制度は、森林生態系等に配慮しつつ、持続可能な林業経営が行われているか一定の基準(モノサ

シ)により判断し認定するもので、そこから生産される原木が他の森林から生産された原木と分別されて管理、生産、出荷するシステムとなっているかを認定するCOC認証とセットになっています。つまり、生物多様性などにも配慮した持続可能な森林経営から生産された原木丸太が、きちんとトレーサビリティされて木材製品となつて供給される仕組み全体を指します。

ところで、二〇二〇年東京オリンピック開催が決定しました。最近開催されたオリンピックは施設の木材造化が顕著にみられ、東京オリンピックでもその流れを汲み、木をふんだんに使った施設の建設が議論されています。ここで重要な点は、海外の事例では、施設建設に使用されている木材の多くは森林認証、COC認証を取得した木材であるということ

です。東京オリンピックでも、どのような(出自の)木材でもよいというのではなく、当然、国際的な水準にある認証材であることを求められることが想定されます。

仮に、現在のようなわが国の森林認証の取得状況の中で認証材による施設建設が進めば、実際に使用される認証材は、ほとんどが外材ということになりかねません。国際的に採用されているFSCやPEFCなどの森林認証は、米国や欧州では取得が進んでおり、特に欧州の森林はほとんどPEFCを取得しており、その木材を輸入しているわが国の製材工場等の多くもPEFCのCOC認証を取得しているからです。

わが国には独自の森林認証制度、SGECがあります。現在このSGECと欧州を中心とするPEFCとの相互認証が検討されています。仮

にそうならば、SGECが国際的にも認められたこととなります。しかしながら、わが国の森林の大部分は、こうした国際的な水準の森林認証を取得していないのが実態です。森林認証取得の最大のネックは、対象となる森林をまとめることです。原木丸太やその製材品が一定量なければ認証材としてのメリットが発揮できません。したがって、認証森林を拡大させるためには、小規模所有形態にあるわが国の民有林をまとめることが出来るかどうかポイントとなつてくるのです。

幸い、福島県は原発事故による対応の必要性から、ふくしま森林再生事業が展開され、市町村が主体となつて民有林をまとめる作業に着手したところです。災い転じて福となす、のことわざどおり、これを機に福島県内の森林をまとめあげ、森林認証を取得し、様々な風評を払拭し、オリンピック施設への木材利用に胸を張って主張できる体制を一刻も早く作るべきであると考えます。

私見を述べましたが、農産物でも国際認証が進められつつあります。状況の変化を座して待つのではない、打って出るなら、今でしょう!!

林業労働力確保支援センターだより

キャリアアップで 雇用の定着促進へ

—「緑の雇用」集合研修始まる—



◎緑の雇用とは

「緑の雇用」現場技能者育成対策事業は、国（農林水産省）の助成事業で、未経験の方でも森林の仕事に就き、必要な技術を学んでもらうために、改善計画の認定を受けた林業事業体（森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等）に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。

◎「緑の雇用」研修生になるには

研修生の要件としては、必要な技能が身につけていない方（林業就業経験二年未満）で研修を受ける必要がある方、林業の仕事がある程度理解した上で林業に就業したい方、ハローワーク等に求職申請をするなど林業に就業活動をしている方、林業事業体に採用される方、研修終了後五年以上働ける方原則（六〇歳未満くらい）となっています。

具体的な研修受講の手続きは、本県では、森林組合連合会、磐城林業協同組合、林業労働力確保支援セン

ターが各々行っています。

◎研修の体系

研修の体系は、採用前の就業体験やガイダンス、事業体が行うトライアル雇用（二ヶ月の就業、林業経験一年未満）により、新規就業者の確保を図りながら、次のステップである林業作業士（フォレストワーカー）研修で就業者の育成を図ります。

この研修は、職場内研修（OJT研修）と集合研修を組み合わせた三年間の研修となっています。

これらの研修後、林業就業経験五年以上の現場管理責任者（フォレストリーダー）研修、林業就業経験十年以上の総括現場管理責任者（フォレストマネージャー）研修へとキャリアアップします。

◎OJT研修とは

OJT研修は、各事業体の実際の作業現場で、各事業体の指導者のもと、知識技能の習熟を図るため、一年目は上限十ヶ月一八〇日、二年目・三年目は上限八ヶ月一四〇日の

期間で実施され、六月一日にスタートしています。

◎集合研修とは

集合研修は、資格取得のための講習や造林・育林、森林調査・測量、かかり木処理、チェーンソー伐倒、間伐作業、作業道作設、現場管理、安全衛生管理、高性能林業機械の実践など多岐にわたります。

研修期間は、一年生が三三日間、二年生が二〇日間、三年生が十九日間で、労働力確保支援センターが企画運営を行っています。

平成二六年度は、六月六日の刈払機取扱作業教育研修を皮切りに十二月月上旬までの間の指定された日に研修を受けることとなります。

なお、平成二六年度の研修生は一年生三八名、二年生二八名、三年生二二名の計八八名となっています。

また、今年度の研修場所は「フォレストパークあだたら」の森林学習館や林

テ研
メす
のを
機を
ス（
刈払
機を
ス（
刈
機を
ス（

刈
機を
ス（
刈
機を
ス（



▲測量実習をする
研修生（1年生）



高性能林業機械
メンテナンス受講（3年生）



チェーンソー
メンテナンス受講（1年生）

業事業体の現場において実施することとしています。

◎林業に必要な資格の取得へ

林業で働く上で必要な資格としては、刈払機取扱作業教育、車両系建設の業務に係る特別教育、車両系建設機械運転技能講習、玉掛け技能講習、小型移動式クレーン運転技能者講習などがあり、これらの資格は集合研修で取得できます。

◎林業事業体への助成

研修中の林業事業体の負担を軽減するため、技術習得推進費として研修生一人あたり月額九万円、指導費として一認定事業体当たり一日五、〇〇〇円、安全向上対策費として研修生一人あたり五万円など、様々な助成があります。

◎おわりに

林業労働力確保支援センターは、県内林業の持続的かつ健全な発展のため、林業事業体の経営基盤の強化、林業担い手の確保・育成等をめざして各種事業を展開しています。今後とも、当センターへのご理解とご協力をお願いいたします。

獣害被害対策に向けた取り組み

■南会津農林事務所

林業普及指導員 五十嵐 正 徳、佐 川 大 三

南会津農林事務所管内の獣害としては、檜枝岐村の尾瀬国立公園におけるニホンジカの被害がよく知られています。尾瀬沼の大江湿原では、ニッコウキスゲが食害でほとんど見られなくなったことから、平成25年度より県や国、町村等関係団体による夜間の巡視活動（今年度当事務所職員もボランティアで参加）、平成26年度には林野庁によるネットの設置が行われ、出現抑制に効果を発揮しています。

一方、森林被害については、平成20年度に管内の下郷町で獣害による剥皮被害が確認されて以来、会津農林事務所や県北農林事務所管内においても確認されていますが、被害は横ばいか減少傾向とみられていました。しかし、実際には枯損に至らない被害はあったのかもしれない。

最近、管内においては獣害による枯損木が目立つようになり、南会津町館岩地区ではスギ・カラマツの全周皮剥ぎのほかヒメコマツ・モミの皮剥ぎも見られています。樹皮に付着している動物の毛を確認したところ、クマ・シカのほかにイノシシの毛も付着しており、管内の剥皮被害は、クマだけによるものではなく、ニホンジカ等のいろいろな動物が関係していることが特徴といえそうです。また、（独）森林総合研究所森林農地整備センターが南会津町栗生沢地内で平成24年度から、ネットやロープのほか鳥よけのリンロンテープ等多種の皮剥ぎ防止対策及び加害動物撮影のためのトレイルカメラの設置等を行っており、こちらでもクマのほか、ニホンジカの姿が確認されています。

こうした状況を受け、南会津地域における獣害の現状と対策について普及を図るため、会津森林管理署・同南会津支署と連携して、今年7月2日に南会津地方森林病虫害等被害対策連絡協議会及び研修会を開催しました。管内町村・森林組合等総勢25名の参加で、研修内容は「クマ・ニホンジカ等による被害状況と対策法について」と題し、室内研修では、被害の特徴や各種対策等について学ぶとともに、国有林における被害対策事例や意見交換を行いました。また、現地研修では、今年度獣害対策を計画している南会津町田代地区においてロープ巻きの実演・実習や被害地の状況と今後の管理方法等の検討を行いました。被害に対する知識と防除技術について習得するとともに、今後の獣害対策を実施するうえで大変有意義な研修会となりました。

南会津地域は、豊富な森林資源や貴重な自然環境が存在しており、今後もいろいろな動物による被害が想定されることから、引き続き被害状況の把握に努めるとともに、南会津地域における被害対策の確立に向けた、森林保護研修会の開催や監視体制・連絡連携体制の強化を図りながら、被害の沈静化を図れるよう取組を進めていきたいと考えています。

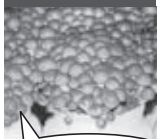


現地研修会の様子（意見交換）

きのこで地域を元気に (公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ
・ハタケシメジ
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

福島水源林整備事務所だより

福島水源林整備事務所で 実施する「独立行政法人 森林総合研究所放射性物質 対処型森林・林業復興対策 実証事業」について

福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の影響がある区域では、森林所有者の経営意欲の減退、被爆への不安等から森林整備が停滞する恐れがあり、森林の公益的機能の低下が懸念される状況となっている。

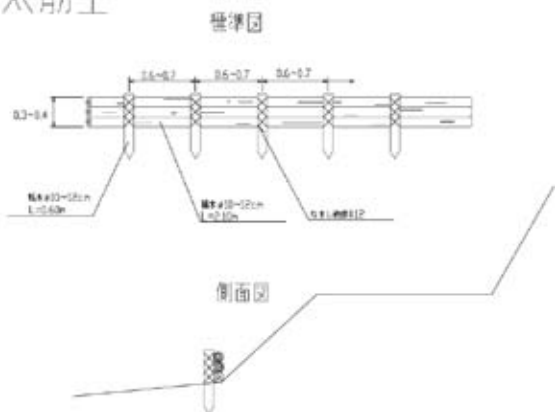
こうした中、福島県内の水源林造成事業地においても、水源涵養や国土保全等森林の公益的機能の発揮を通じて、地域住民の生活に密接に関係していることから、適切な森林整備を推進する必要がある。このため、通常の森林整備の手法に加えて、当該地域における放射性物質への対処など特別な配慮が必要であることから、福島県、国有林と連携して、必要な取組を実証的に行うこととしている。

事業対象地は「汚染状況重点調査区域」内の造林地とし、今回実施した事業地の位置する市町村が策定し



た、「ふくしま森林再生事業全体計画」との整合を図り事業を実施した。事業内容は、落葉・表土の除去は行わず、丸太柵工等（筋工）の土木の施設による表土流失防止等を実施することによって、森林の有する

丸太筋工



多面的機能を維持しながら放射性物質の低減を図る計画とした。
森林内における放射性物質は、表土に多くとどまっていると推測されており、溪流への流出は降雨による路肩崩壊等が発生した際に、表土が流出することにより濁水に含まれる懸濁物質として放射性物質が流出するものと考えられている。このため、これを抑えることが拡散防止のために有効と考えられ、今回の実証事業地では、「拡散防止対策」として筋工を設置した。
設置位置は、事業の効率性を考慮して作業道新設箇所の沢側法尻部とした。

実証事業を実施した箇所は、今後、筋工設置箇所とその下方部の放射線量率を測定して対策工の効果を検証していくことになるが、柵工等の設置箇所についても画一的に作業道の法尻に設置するのではなく、作業性と効果について検討する必要があると考えている。今回は実施しなかったが、表土流出防止の施工と併せて、ゼオライト等の吸着材を中詰めた土嚢やマット等を使用することで、土壌に付着した放射性物質の拡散抑制効果、吸着効果の向上を図ることが期待できる吸着材等の適用についても技術指針等を参考にしながら検討して、今後実施する造林地では、より効果的な放射性物質の拡散防止対策を実施していきたい。



団体のページ

木連だより

一県産パークの
緑化基盤材への
施用実証試験一

一福島県産パーク混合緑化基盤材を
積極的に活用しよう一



県木連が平成二五年度に行つたこの実証試験において、福島県産パーク堆肥を含有する緑化基盤材を吹付施工して、施工性、放射線量、発芽生育性、緑化基盤材の安定性等を調査し、法面への吹付や海岸防災林への施工の可能性について検討しました。

一、試験方法

(1) 試験期間

平成二五年十月一日

（平成二六年二月二八日

(2) 試験区の設定

ア工区：パーク堆肥八〇割十コ
コピート（ヤシ繊維）二〇割

イ工区：パーク堆肥八五割十コ
リンカーアッシュ（石炭灰）一五割

ウ工区：パーク堆肥七〇割十コ
リンカーアッシュ（石炭灰）三〇割

エ工区：パーク堆肥五五割十コ

(3) 吹き付け施工

平成二五年十月二日～三日各工

区毎に緑化基盤材、化成肥料、配合種子を特定の割合で混合し、モルタルガンで約一〇〇平方メートルの畑地に吹き付け施工した。

二、試験結果

今回の試験で次の知見が得られた。

(1) 発芽生育状況

①施工時期（十月二～三日）が播種不適切にも関わらず、十月末

コピート一五割十コリンカーアッシュ（石炭灰）三〇割

オ工区：県外産（広島県）パーク堆肥一〇〇割

今回使用したパーク堆肥は放射性セシウムを含む肥料の暫定許容値四〇〇ベクレル／キログラム以内となるように福島県産樹皮を特定の割合で混合した。

には全試験区で発芽生育が認められた。

②寒い時期のため寒さに弱い植物（種子）には枯死するものが見られたが、

日当たりの良い工区を中心に三ヶ月後には緑被率が四〇～七〇割とほぼ播種した土壌が被覆される状態となった。

(2) 緑化基盤材及び生育植物の放射能濃度

①放射能汚染が低い樹皮と混合すれば基準値を下回る堆肥の製造は可能。

②リンカーアッシュ等を混合することにより更に放射能濃度が低下するし、また経済性、施工性も向上する。

導入植物の発芽生育測定結果

	測定日	ア工区	イ工区	ウ工区	エ工区	オ工区
緑被率 (%)	平成25年10月29日	1.0	0.8	1.5	1.2	5.0
	平成25年12月11日	50	30	50	45	55
	平成26年1月15日	60	40	60	50	70

※緑被率は、試験区の表面積を発芽生育した植物が何パーセント被覆しているかを数値化した指数

放射線量及び放射能濃度測定結果

工区	施工後放射線量 (μSv/h)	緑化基盤材放射能濃度 (Bq/kg)		生育植物の放射能濃度 (Bq/kg)
		施工前	種子生育後	
ア工区	0.07	114	48	ND
イ工区	0.08	48	58	5.6
ウ工区	0.08	33	23	6.4
エ工区	0.07	45	43	4.6
オ工区	0.07	ND	ND	3.4



緑化基盤材吹付中



吹付種子の発芽生育状況



第11回 ふくしま森林・林業写真コンクール

テーマ

下刈、間伐等の森林整備作業・木材の利用・特用林産物（炭焼き、きのこ栽培、漆等）・里山風景・森林レクリエーションなど森林・林業に関わりのあるもの。

応募資格

アマチュアに限ります。

審査員

主催者、後援者の代表、専門家等によって審査します。

作品サイズ

カラープリント 四ツ切・ワイド四ツ切（デジタルカメラ撮影可）

発表

入賞者には平成26年10月上旬に直接通知します。

賞

- 最優秀賞 1点 賞状 賞金（3万円）
- 優秀賞 3点 賞状 賞金（2万円）
- 特別賞 1点 賞状 賞金（2万円）
- 入選 5点 賞状 賞品
- 佳作 5点 賞状 賞品

応募締切

平成26年9月19日（金） ※当日消印有効

応募上の注意

福島県内の森林・林業を撮影地とした自作の未発表の作品に限ります。

原発事故による制限区域等への立ち入り撮影は禁止です。

森林整備作業等の撮影では、作業員の指示に従い安全に留意すること。

応募点数に制限はありませんが、入賞は1人1賞とします。

応募作品には、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、を記入した応募票（自作可）を添付して下さい。

入選者はネガを提出していただけます。デジタルカメラの場合はデータをCDにおとしたもの。

肖像権侵害等の責任は負いかねますので、事前に被写体から承諾を得た上でご応募下さい。

入賞作品の著作権は主催者に帰属し、「林業福島」等の広報誌に使用させていただきます。

原則として応募作品は返却いたしません。

送り先・問い合わせ先

〒960-8043 福島市中町5番18号 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
TEL 024-521-3245 FAX 024-521-3246

食の祭典「おいしい ふくしまいただきます!フェスティバル2014」

1. 開催趣旨

福島県の豊かな農林水産物やそれらを活用した加工品、名物料理など福島ならではの「食の魅力」を、県内をはじめ全国へと発信し風評払拭を図るため、関係者の連携による総力を挙げた県内最大級の食の祭典イベントを開催します。

2. 主催

ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動推進本部・福島県

3. 開催日

平成26年9月6日(土)～7日(日) 2日間

4. 開催場所

いわき市アクアマリンパーク
所在地：小名浜港1・2号ふ頭広場
福島県いわき市小名浜辰巳町43-9

5. 来場予定者数

約30,000人（15,000人/日×2日間）

6. イベント内容

- (1)出展事業者による試食、実演、販売
- (2)県内の農林水産物及びそれらを活用した加工品、名物料理のPR、販売
- (3)県産農産物等を活用した食文化発信
- (4)ステージイベント（有名人によるトークショー、お笑いステージ等）

7. お問い合わせ先

フェスティバル事務局 TEL 024-521-2339

9月のお知らせ

◇第9回農業総合センターまつり

期日 9月12日(金)～13日(土)
場所 郡山市「福島県農業総合センター」

お問い合わせ先

福島県農業総合センター
(TEL：024-958-1700)

◇第44回全日本オートキャンプ大会

期日 9月13日(土)～15日(月)
場所 大玉村「フォレストパークあだたら」

お問い合わせ先

ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
(TEL：0243-48-2040)

◇ふたばワールド2014inかわうち

期日 9月28日(日)
場所 川内村「川内小学校」
お問い合わせ先

双葉地方広域市町村組合
(TEL：0240-27-4665)

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(5月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	10 (10~10)	0	9 (8~10)	0
		10~13		並	スギ	13 (10~15)	△1	8 (8~8)	0	11 (10~13)	△1	12 (8~15)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	14 (13~15)	0	10 (10~10)	0	13 (13~14)	0	13 (10~15)	0
			並	ヒノキ	23 (20~25)	△2	(0~0)	0	19 (18~20)	1	21 (18~25)	△1	
		6.00	並	スギ	18 (16~20)	0	8 (8~8)	0	18 (18~18)	0	16 (8~20)	0	
			並	ヒノキ	27 (27~27)	0	(0~0)	0	25 (22~27)	△2	25 (22~27)	△2	
	20~28	3.65	並	スギ	14 (12~15)	0	12 (12~12)	0	14 (13~14)	0	13 (12~15)	0	
		4.00	並	アカマツ	10 (9~11)	△1	(0~0)	0	10 (10~10)	△1	10 (9~11)	△1	
		1.80	並		7 (5~8)	0	(0~0)	0	8 (7~8)	0	7 (5~8)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	30 (26~34)	0	30 (26~34)	0
並				米マツ	33 (33~33)	3	29 (29~29)	0	32 (29~35)	0	32 (29~35)	1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27 (26~28)	0	27 (26~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32 (28~36)	0	32 (28~36)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
			並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	0	5 (5~5)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	0	5 (5~5)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		8 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)		9 (8~10)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

四月の原木市場への入荷状況は、前月比七割増(前年比一割増)の二七、九一二立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比一三割増(前年比一四割増)の二八、四〇六立方メートルとなっている。
 五月の価格については、小幅の値動きがみられ、小保合いとなっている。



いわき歴史探訪

いわき農林事務所 森林林業部 七海弘明

今、いわきで最も注目を集めているのは、映画「超高速! 参勤交代」であります。映画の舞台となった湯長谷藩に関する歴史企画展やスタンプラリーなどの様々な企画が開催されており、ちよつとした盛り上がりを見せております。映画は四代藩主内藤政醇を主人公に、江戸幕府の無理難題に知恵と勇気で幕府に挑む小藩の物語で、八月号が手元に届く頃でもいわき市内の映画館であれば、おそらく上映していると思いますので、ご覧いただきたい方は、ぜひいわきにお越しいただければと思います。



湯長谷藩 藩屋跡



白鳥山 龍勝寺

さて、映画の舞台となった湯長谷藩は、常磐地区を中心に内郷白水、鹿島などの一部及び江名、豊間を治めていた小藩で、平藩二代藩主内藤忠興の時(一六七〇年)、三男政亮に一万石を分与した後に藩が成立し、一六七六年には湯長谷に陣屋を築城されたのがはじまりで、最後の十四代まで国替えもなく明治維新を迎えています。

湯長谷藩の歴史を体感するため、陣屋跡である市立磐崎中学校を訪れてみました。跡地の石碑は学校敷

地内にあり、中に入る勇氣もなく、菩提寺の白鳥山龍勝寺にあつては、場所が分かりにくく、ようやく見つけても近所の目が気になったため、数秒眺めて退散しましたが、観光地化していない雰囲気に当時を偲ぶには十分でした。

私は、現在自宅と職場の間にある新川の河川敷を往復するだけの毎日ですが、今回の歴史探訪(大げさですが)は、いわきを知る貴重な機会となりました。

皆様も、この夏、地元や勤務先の郷土史に触れ、新たな発見に知的好奇心を刺激してみたいかがでしょうか。

表紙の写真



「緑のカーテン」

第28回ふくしま緑の写真コンクールで金賞を受賞した斎藤アイ子さん（国見町）の作品。

はなしのひろば

初秋の朝の空

自宅前の通学路で何度も気になる光景を目にした。小学校三〜四年生くらいの女の子が父親に手首を掴まれ、引かれていく。女の子は「いやだ」と言いながら全力で抵抗している。（登校拒否だろうか…。）

実は、私も小学校一〜三年生までほとんど登校していない。その当時「登校拒否」という言葉すらなく、母は（どうしてこの子にはあたり前のことができないのだろうか…）と毎日台所で泣いていたというから、親の負担も計りしれなく大きかったことだろう。

しかし、当の私は、居心地がいい縁側に座って晴れた空を見ていたかった。三年間の数少ない登校日は雨の日が多かった記憶がある。ところが、しびれを切らした父は「そんなに行きたくなければ行かなくてもいい。」と強く言い放った。私にとって縁側が学校だったが、ここで孤立するこわさを感じた。その一言で私の登校拒否は終止符を打ったが、小学校生活に縁側以上の楽しみを見いだすことはできなかった。

「啐啄同時」という言葉がある。雛鳥が孵化する時に親鳥がその音を察知し、外からも突き、孵化を手伝うことだが、父の一言はまさにそれだった。

自宅前の小学校も夏休みが終わり、集団登校の列とすれ違う。その列になんと楽しそうに登校するあの女の子がいるのではないか。彼女もまた自分の殻を破ったのだろう。

「人の成長は、比較ではなく自分の伸びなのだ」と改めて見上げた空は、縁側から見上げた空と今も変わりなく広がって青い。ほんの少しずつ高くなり、初秋の澄んだ気配を感じる。新しくもとても懐かしい朝の空だ。（都）

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

相馬 雅俊

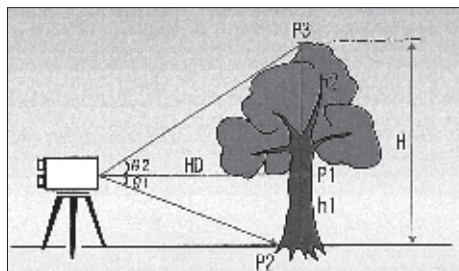
発行人

陽光社印刷株式会社

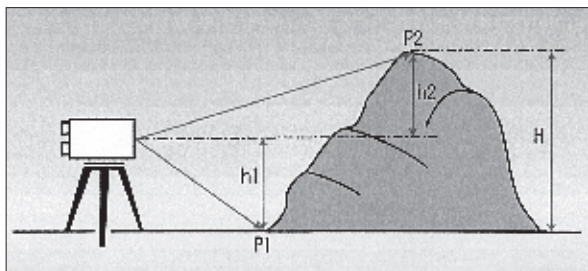
（定価 一〇八円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

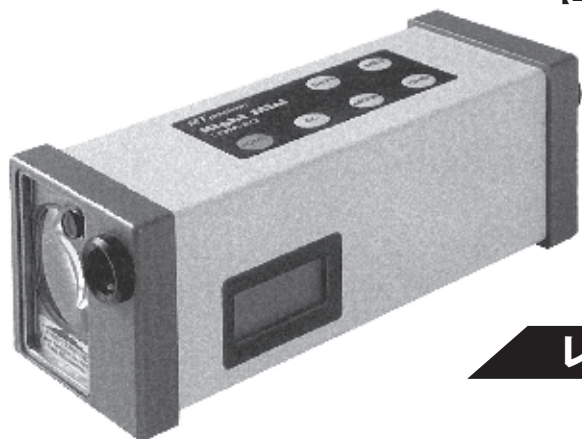


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	±5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

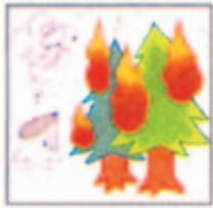
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



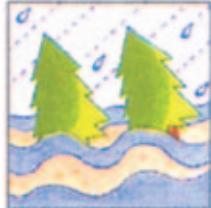
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (楽退治)
ハチノックS (携帯用)

大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。 機器はゼノアから

チッパシュレッダ



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,375,000(税抜)

プロソー



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1